

# 慢性副鼻腔炎に対する鼻ネブライザー療法の 臨床的検討

鹿児島大学医学部耳鼻咽喉科学教室

古田 茂, 他

鹿児島大学およびその関連6施設を受診し、慢性副鼻腔炎に対する保存的療法および手術療法を受けた患者を対象として、慢性副鼻腔炎に対する鼻ネブライザー療法の有用性を検討した。

保存的鼻ネブライザー療法を受けた258例に対する臨床効果は著効50例、有効82例、やや有効71例、不変・無効55例で、有効以上の有効率は51.2%であった。

自然孔の開大を目的とする内視鏡下レーザー上顎洞手術を施行した47例について、本治療の有用性を検討した。その術後ネブライザー療法の有効率は、著効13例、有効16例、やや有効13例、不変5例で、有効以上の有効率は61.7%であった。

鼻腔病変の改善により、鼻ネブライザー療法の有用性がより一層期待されることを強調した。